

エストニア最先端デジタル社会動向調査 5泊6日間

(電子政府・電子自治体の最新動向とスタートアップにおける官民協力)

日	旅程	食事
2/7 (火)	※午前 成田フィンランド航空にてヘルシンキへ乗り継ぎ、エストニアの首都タリンへ ・成田フィンランド航空 (AY074 11:55 成田発、15:20 ヘルシンキ着) ・ヘルシンキ到着後、乗り継ぎ便 (AY113 16:25 ヘルシンキ発) ・17:00 タリン到着後、バスにてホテルへ 宿泊地: タリン市内	朝食なし
		昼食なし
		夕食あり
2/8 (水)	※終日訪問(タリン市内) ・eEstonia ショールーム 訪問 ・エストニア情報システム局 / 経済通信省 訪問 ・エストニア電子保健財団(注1) 訪問 ・e-レジデンシーチーム 訪問 (注1) エストニア電子保健財団 (Estonian eHealth Foundation) 全国保健情報システムの開発、実施および日々の稼動を行う機関である。同財団の主な任務は、開発中の保健情報システムの構造論理および作業工程を開発し、これを実施・チェックすることである。 宿泊地: タリン市内	朝食あり
		昼食あり
		夕食あり
2/9 (木)	※タリン→タルトゥ→タリン(日帰り) 午前中バスにてエストニアで2番目に人口の多いタルトゥへ(約 185km、約 3 時間)。 ・タルトゥ市 市役所 訪問 ・ベンチャー企業訪問(2 社訪問予定) ・スマートシティラボ (Smart City Lab) (注2) 訪問 訪問終了後、タリン市内に戻る。 (注2) スマートシティラボ (Smart City Lab) タルトゥ市に拠点を置く産官学が参加するデジタル社会を推進する組織 宿泊地: タリン市内	朝食あり
		昼食あり
		夕食あり



2/10 (金)	<p>※終日訪問(タリン市内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MEKTORY/タリン工科大学 (注3) 訪問 ・ラウンドテーブル/タリン工科大学(注4) 参加 ・スタートアップ企業訪問(注5) 	朝食あり
	<p>(注3)MEKTORY/タリン工科大学 タリン工科大学にある、産学連携組織。</p> <p>(注4)ラウンドテーブル 今回の訪問調査に合わせて企画 日本とエストニアの電子政府に関する議論(公開イベント、JEEADIS/タリン工科大学が主催)</p> <p>参加予定者: ツアー参加者、TUT 教授、エストニア政府の担当者、IT 企業</p>	昼食あり
	<p>(注5)スタートアップ企業訪問 クラウドファンディングで資金調達をしたクラフトビール醸造所を訪問</p> <p style="text-align: right;">宿泊地:タリン市内</p>	夕食あり
2/11 (日)	<p>※出発まで自由行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィンランド航空にてヘルシンキにて乗り継ぎ、帰国の途へ。 	朝食あり
	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンランド航空 AY108 14:55 タリン発、15:30 ヘルシンキ着後、 ・乗り継ぎ便 AY073 17:20 ヘルシンキ発 	昼食なし
	機内泊	機内食
2/12 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・10:00 成田着 ・通関後、解散 <p style="text-align: right;">☆ お疲れ様でした</p>	

* 現地の諸事情や交通機関のスケジュール等で日程が変更となる場合がございます。

旅行代金(お一人様):500,000円

「先着8名様限定料金(お一人様):450,000円」



※ツアーの詳細、催行条件、注意事項など

空港利用料	旅行代金に含まない(大人金額 2,610 円、子供金額 1,570 円)
現地税	旅行代金に含まない
燃油チャージ	旅行代金に含まない、大人 : 7,640 円(10/25 現在目安) ※航空会社による増額、為替の変動等により、価格が変動する場合があります。
期間	6 日間(2017 年 2 月 7 日～2017 年 2 月 12 日)
航空会社	フィンランド航空 (エコノミークラス)
利用ホテル	スカンディックパレスタリン (Hotel Palace) 又は同等デラックスクラスホテル
一室利用人数	1 名1室
出発地	成田
食事回数	朝 4 回、昼 3 回、夕 4 回
添乗員	なし
最少催行人数	8 名
注意事項	<ul style="list-style-type: none">● 空港使用料、各国空港税、燃油特別付加運賃は含まれておりません。別途お支払いいただきます。詳細はお問い合わせください。■ 燃油サーチャージは変動します。正式ご予約後であっても燃油サーチャージに変動が生じた場合は、差額の追加徴収もしくはご返金をさせていただきます● バルト三国では海外旅行保険加入が必須です。必ず何らかの海外旅行保険にお申込ください。■ 旅券の未使用査証欄:6 ページ以上必要となります。ただし、エストニアに入国する際は連続 3 ページ以上未使用欄が必要となります。

旅行前には必ず、外務省の海外安全ホームページ(<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)で訪問地の安全情報についてご確認ください。

※ツアーポイント

■訪問都市:タリン、タルトゥ

■調査内容

エストニアにおける電子政府、電子自治体の構築に向けた取り組みと、最新の動向を調査するとともに、デジタル社会の構築・スタートアップ支援における官民の協力について訪問調査し、ラウンドテーブルを開催して、エストニアの電子政府関係者との自由なディスカッションの場を設けます。

◇ 視察テーマ

①電子政府ガバナンスの調査

エストニアの電子政府を推進する経済通信省エストニア情報システム局を訪問し、企画会議の構成、計画と戦略の作成手順、などエストニアの電子政府の推進方法を調査します。

② 電子自治体の実態の調査

エストニア第2の都市であるタルトゥ市にて電子自治体の実態を調査するとともに、タルトゥ市に拠点を置くベンチャー企業や、産官学が参加する組織 Smart City Lab を訪問し、地方自治体におけるデジタル社会実現に向けた活動を調査します。

③ スタートアップ支援の調査

スタートアップを積極的に支援するタリン工科大学の MEKTORY、及びスタートアップ企業「クラフトビール醸造所」を訪問し、スタートアップの実情を調査します。

④ 最新動向の調査

- ・ e-レジデンシーの状況の調査
- ・ 医療分野でのブロックチェーンの利用

■ コーディネータ・現地同行 ラウル・アリキヴィ氏



現在 ESTASIA 社代表・Planetway Corporation 取締役

1979年エストニア生まれ。名門タルトゥ大学卒業後、早稲田大学の修士課程を修了する。

前職では、エストニア経済通信省 (Ministry of Economic Affairs and Communications) の経済開発部で局次長を務める。同省では2020年に向けたエストニア情報社会のための新たな戦略と政策の設計などを担当。

現在は日本に暮らし、エストニア行政での経験と知識を生かしてコンサルティング会社 ESTASIA を2012年12月に設立し、アジアにエストニアの行政システムなどを紹介している。2013年には日本のクラフトビールを欧州へ輸入する BIIRU を設立。

共同書籍:未来型国家エストニアの挑戦(<http://www.amazon.co.jp/dp/4802090382/>)



※企画:日本. エストニア/EU デジタルソサエティ推進協議会

(JEEADIS ジェアディス)

〒105-0004 東京都港区新橋4丁目5番1号アーバン新橋ビル 8F

メールアドレス:yoji.maeda@jeeadis.jp

ホームページ:<http://www.jeeadis.jp>

担当者:前田

※旅行企画. 実施/お問い合わせ先:アクトトラベル株式会社

観光庁長官登録旅行業第 1902 号

中国訪日観光指定旅行会社 0903-001 号

社団法人 日本旅行業協会正会員

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-48-10 25 山京ビル 515

TEL:03-5911-7088(代表) FAX:03-5911-7089

メールアドレス: air@acttravel.co.jp

ホームページ:<http://www.acttravel.co.jp>

総合旅行業務取扱管理者 名嘉一幸. 柴田得二. 伍芸

担当者:秋山(アキヤマ). 譚(タン)